



Osaka Prefectural Government
RECRUITING GUIDE
2024-2025



◀ 試験案内や過去の試験情報、説明会の情報は大阪府職員採用案内ホームページをご覧ください。



◀ 「大阪府職員採用」公式X(旧ツイッター)



◀ 「大阪府人事委員会事務局」公式チャンネル(YouTube)

競争試験に関する問合せ先

府民お問合せセンター「ビビッとライン」
(午前9時から午後6時まで、土日祝日、年末年始休み)

TEL:06-6910-8001
FAX:06-6910-8005

主な選考職種と問合せ先

選考職種及び技能労務職については各採用部局にお問合せください。年度により募集しない職種もあります。

主な選考職種	お問合せ先
事務(障がい者対象)、社会福祉、児童自立支援専門員、児童生活支援員、心理、医師、獣医師、薬学、保健師、栄養士、職業訓練指導員等	総務部 人事局 人事課 https://www.pref.osaka.lg.jp/jinji/senkou/index.html TEL:06-4397-3679
司書、考古学技師	教育庁 教育総務企画課 https://www.pref.osaka.lg.jp/kyoikusomu/recruit/index.html TEL:06-6944-0024
公立学校教員、公立義務教育諸学校事務職員、公立義務教育諸学校事務職員(障がい者対象)、府立学校実習教員、府立学校実習教員(障がい者対象)、農芸員、農芸員(障がい者対象)等 ※大阪市立、堺市立、豊中市立、池田市立、箕面市立、豊能町立、能勢町立の学校を除く。	教育庁 教職員室 教職員人事課 https://www.pref.osaka.lg.jp/kyoshokuin/shokai.html TEL:06-6944-6895
警察事務(障がい者対象)、科学捜査研究所研究員、警備艇乗組員、保健師、少年育成心理、ヘリコプター整備士、自動車整備士、通訳、情報処理	警察本部 警務部 警務課 人事第六係 https://www.police.pref.osaka.lg.jp/ TEL:06-6943-1234(代) 内線26221
大阪府警察官(巡査)	警察本部 大阪府警察官採用センター https://www.police.pref.osaka.lg.jp/ TEL:0120-370-314

大阪府 職員採用 ガイド

2024-2025



大阪府広報担当副知事
もずちゃん



組織図

職員インタビュー

転職経験者インタビュー

キャリアパス紹介

CONTENTS

- 1 メッセージ
- 2 組織名と主な業務内容
- 3 大阪府（本庁と主な出先機関）
- 4 職種ごとの業務内容（競争試験職種）
- 5 職員インタビュー（競争試験職種）
- 11 職種ごとの業務内容（主な選考職種）
- 12 職員インタビュー（選考試験職種）
- 13 転職経験者インタビュー
- 14 人事制度（昇任制度／勤務条件）
- 15 キャリアパス紹介
- 16 人事制度（ワーク・ライフ・バランス／主な子育て支援制度）
- 17 人事制度（配属・異動／研修制度）
- 18 Q&A



世界の中で躍動し、成長し続ける大阪で、
 あたらしい歴史の1ページをつくるために、

大阪府ではたらきませんか。



組織名と主な業務内容

※令和6年1月現在

知事部局

			【主な配属職種】
知事	副首都推進局★	副首都化の推進など	●行政
	危機管理監	防災、災害救助など危機管理の総合調整、総合的な治安対策など	●行政
	政策企画部	府政の総合企画及び調整、地方分権改革、関西国際空港関連事業、 栄典表彰、秘書事務、報道機関との連絡調整など	●行政
	万博推進局★	2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催	●行政
	総務部	組織・人事、条例立案、市町村行政の支援、統計調査など	●行政
	財務部	府の予算、行政改革、府税、財産管理など	●行政
	スマートシティ戦略部	大阪スマートシティ戦略の推進、行政の情報化など	●行政
	府民文化部	人権施策の推進、府民協働、広報広聴、情報公開、都市魅力創造、 文化・生涯スポーツの振興、国際交流、観光振興、消費者行政など	●行政
	IR推進局★	特定複合観光施設の誘致の企画・立案・総合調整など	●行政
	福祉部	子ども・高齢者・障がい者等に関する社会福祉、次世代育成など	●行政 ●社会福祉 ●心理
	健康医療部	病気の予防や健康の増進、医療の充実、医薬品等の安全確保、 食品衛生、環境衛生など	●行政 ●保健師 ●薬学 ●獣医師 ●栄養士 ●医師
	商工労働部	技術・経営・販路開拓支援、融資など商工業の振興、ライフサイエンス等の 成長産業の創出、就労支援、職業能力開発・向上など	●行政
	環境農林水産部	豊かな環境の保全と創造、農林水産業の振興、生産基盤の整備、 森林保全、市街地緑化、生鮮食品等の安定供給、JA等の団体の指導など	●行政 ●環境 ●農学 ●農業工学 ●林学 ●獣医師
	都市整備部	道路・河川・下水道・公園・府有建築物の整備・維持管理や公共交通施策の 推進、住環境整備、安心・魅力ある住まいの実現、建築確認など	●行政 ●土木 ●建築 ●機械 ●電気
	大阪都市計画局★	都市計画及びまちづくりに関することなど	●行政 ●土木 ●建築
大阪港湾局★	府市の港湾及び海岸に関する業務など	●行政 ●土木	
会計管理者	府の収入・支出金の管理をはじめ、収入・支払事務に関する 検査・指導や決算調製等の会計事務	●行政	

★大阪府と大阪市が共同で設置している組織

行政委員会等

		【業務概要】	【主な配属職種】
議会	議会事務局	条例の制定・改正・廃止、予算等、府政の重要な事項を審議・ 決定する議会の議事運営及び調査事務など	●行政
教育委員会	教育庁	公立学校、その他の教育機関の設置・廃止や管理、学校教育や 社会教育、文化財保護、私学の振興など	●行政
選挙管理委員会	選挙管理委員会事務局	知事・府議会議員・国会議員の選挙や政治資金の規正事務など	●行政
監査委員	監査委員事務局	府の事務及び財務の執行が、法律等に違反せず、公正で合理的、 効率的に行われているかを監査すること	●行政
人事委員会	人事委員会事務局	職員採用試験、措置要求、不利益処分等の審査請求、苦情相談、 職員の給与等に関する勧告など人事行政に関すること	●行政
労働委員会	労働委員会事務局	労働組合と使用者間の労働争議の調整、不当労働行為の審査や 労働組合の資格審査に関すること	●行政
収用委員会	収用委員会事務局	公共の利益となる事業に必要な土地の収用等に関し、 審理や調査を行い、適正な補償金等を裁決すること	●行政
海区漁業調整委員会	海区漁業 調整委員会 事務局	海面の漁業権免許や漁業許可等に関して知事に意見を述べたり、 資源保護など漁業調整のために必要な指示をすることなど	●行政
内水面漁場管理委員会		河川の漁業権免許や増殖計画等に関して知事に意見を述べたり、 水産動植物の採捕の制限など必要な指示をすることなど	●行政
公安委員会	警察本部	犯罪の抑止・検挙、少年保護、地域安全活動、交通指導取締り、 雑踏警備など	●警察行政

大阪府

本庁と主な出先機関

主な出先機関

- 府税事務所
- 流域下水道事務所
- 保健所
- その他
- 土木事務所
- 子ども家庭センター
- 農と緑の総合事務所

大阪府庁



大阪府警察（警察本部）



大阪府庁（咲洲庁舎）



職種ごとの業務内容

大阪府には幅広い分野の仕事、多様な職種があります。

選考職種の紹介はP11

競争試験職種

年齢等の受験資格を満たしていれば
学歴や職務経験に関係なく受験できる職種

それぞれのQRコードから各職種の紹介、採用案内をご覧いただけます。



土木

（「造園分野」を含む）



道路・鉄道・河川・下水道・港湾・公園・防災等に関する都市基盤施設の政策や計画の立案、整備、維持管理等の業務や将来の都市像を示す都市計画の策定、指導、都市緑化施策の推進等の業務を行います。

主な配属先

本庁／都市整備部、大阪都市計画局、大阪港湾局 など
出先機関／土木事務所、治水事務所、流域下水道事務所 など

建築



住宅及びまちづくりに係る施策の企画や事業の推進、建築等の違反取締りや指導、府営住宅の管理・保全・改善、府有建築物の整備、維持管理等の業務を行います。

主な配属先

本庁／都市整備部、大阪都市計画局 など

機械



下水道施設、水門、ポンプ場、府営住宅等の公共建築物の空調設備や給排水設備等、都市基盤施設等が機能を果たすために必要な電気設備について、計画、設計、施工管理から運用、維持管理に関する業務を行います。

主な配属先

本庁／都市整備部 など
出先機関／治水事務所、流域下水道事務所 など

電気



下水道施設、水門、ポンプ場、府営住宅等の公共建築物の受電整備や監視整備等、都市基盤施設等が機能を果たすために必要な電気設備について、計画、設計、施工管理から運用、維持管理に関する業務を行います。

主な配属先

本庁／都市整備部 など
出先機関／治水事務所、流域下水道事務所 など

環境

（「水産分野」を含む）



地球温暖化対策、再生可能エネルギーの普及、リサイクルの推進、事業活動や廃棄物に関する監視・検査・規制・指導、府民や事業者の自主的な環境活動の推進、大阪湾の漁業振興等の業務を行います。

主な配属先

本庁／環境農林水産部 など
出先機関／農と緑の総合事務所 など

農学



ICTを活用したスマート農業などの技術指導、大阪産（もん）の地産地消やブランド化・販路拡大、新規就農者の確保・育成や企業参入の推進のほか、農業分野でのゼロエミッション化に向けた取り組み等の業務を行います。

主な配属先

本庁／環境農林水産部 など
出先機関／農と緑の総合事務所 など

農業工学



食糧生産をはじめ、多面的な機能を有する農空間の保全・活用や府民の安全・安心の確保のため、農地、ため池、水路等の整備を行います。また、府民協働による地域づくりの推進や府民が農に参画する機会の拡大を行います。

主な配属先

本庁／環境農林水産部 など
出先機関／農と緑の総合事務所 など

林学



みどりの有する多様な機能を発揮させるため、森林や林業の振興、山地防災、自然公園、市街地の緑化に係る施策の企画や保全整備に係る業務を行います。また、生物多様性の保全等自然環境全般に関する施策の企画・推進も行います。

主な配属先

本庁／環境農林水産部 など
出先機関／農と緑の総合事務所 など

行政



政策企画部
成長戦略局
H29入庁

大野 友香

Ohno Yuka

詳細な
インタビューは
こちら！



現在の仕事内容

私のいる成長戦略局国際金融都市グループは、大阪を国際金融都市にしていくための様々な取組みを行っている部署です。具体的には、大阪の魅力を海外の金融系外国企業などへ発信することや、その誘致活動を行っています。その中で、私は、プロモーション事業やグループ内の庶務などの事務手続きを行っています。

仕事のやりがい

大阪における国際金融都市の取組みは、まだ新しく始まったばかりです。めざす国際金融都市像を実現するため、どのように事業を進めていくべきか、先輩・上司や関係者と模索しながら、進めている段階です。金融の先進的な技術など、自分では考えもつかないアイデアにワクワクすることもあります。大阪の未来を創る重要な取組みに携わることができていること、その大きな方向性の決定に関与できていることにやりがいを感じています。

職場の雰囲気

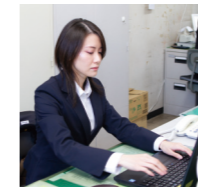
現在の部署は、女性の管理職・職員も多くいます。子育て世代の方も多いため、協力しながら休みが取れるようにするなどの工夫をしています。本庁・出先機関ともに、困ったときには上司も同僚も親身にサポートして下さるため、安心して働くことができます。

警察行政



警察署
会計課
H29入庁

詳細な
インタビューは
こちら！



現在の仕事内容

警察署員の給料の管理や年末調整などの給与事務と、警察署や交番で使用される電気・水道・ガスの支払いなどの歳出事務を担当しています。その他にも落とし物の取り扱いや免許更新の手数料などの支払いで窓口に来られた方の対応や府民の方からの電話応対もしています。

入庁してからこれまで、
最も印象に残っている仕事

これまで一番印象に残っている仕事は落とし物の取り扱いです。落とし物を持ち主へお返しした際に「落とし物が手元に戻ってくるのが本当にあるんですね。」と声を掛けられました。その言葉を聞いて私たちの仕事は誰かの為に役立てる、とてもやりがいのある仕事だと痛感しました。この言葉をきっかけに今まで以上に自分の仕事に誇りを持って仕事に取り組むことができました。

職場の雰囲気

現在の職場は、真剣に仕事に取り組みつつも気さくに声を掛けあったりする、とても風通しの良い職場です。警察署は堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、そんなことはなく、全体的に和やかな雰囲気、男女ともに働きやすい環境です。

現在の仕事内容

住民サービスの向上と行政の業務効率化の実現に向けて、大阪府の自治体におけるデジタル改革を推進しています。具体的には、庁内や府内市町村が利用するシステムの見直しや、SNSを活用した府民向けサービスの構築などについて、知事や有識者の先生方が参加する会議を開催し、検討を進めています。

入庁してからこれまで、
最も印象に残っている仕事

令和3年2月に、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する業務に携わりました。私は、医療従事者への優先接種について、接種希望者に関する電子データの処理を自動化し、業務の効率化やミスの低減に貢献しました。大変な業務でしたが、府民の方々の健康に関わる業務ですので、上司や同僚の協力を得て確実に業務を行うことを心掛けました。

職場の雰囲気

私の所属するスマートシティ戦略部は、民間企業や府内市町村から派遣されている方が多く、業務の取り組み方など、とても参考になります。また、キャリアクリエイト制度を使って配属された方も多く、業務に対するモチベーションの高さに日々刺激を受けています。

行政



スマートシティ
戦略部

戦略推進室 戦略企画課

H31入庁

論文(情報分野)で受験

三宅 拓人

Miyake Takuto

詳細な
インタビューは
こちら！



現在の仕事内容

大阪府警の活動の基盤となる情報システムの委託開発を担当しており、委託業者が大阪府警の実現したいことを適切に理解し、求める情報システムを不具合なく、計画通りに開発していただいているかを管理する仕事をしています。また、新規採用者や異動により配属された方へ情報処理に関する基本的な知識の習得を目的として行っている講習会の講師も担当しています。

仕事のやりがい

情報システムの委託開発業務は、大阪府警と委託業者との間に齟齬が生じないよう細心の注意を払う必要があるため、責任は重大ですが、開発した情報システムについて、現場の警察職員から「以前より使いやすくなった」「便利になった」「効率が良くなった」という声を聞くことややりがいを感じます。

入庁前のイメージと違ってしたこと

入庁前は警察と聞くと体育会系で厳しい職場であるという印象を持っていましたが、実際には全く違って、皆さん個性豊かで、それでいて親切で面倒見のいいばかりで驚きました。チームで目標に向かい、一体感を持って仕事をしている職場です。また、仕事以外でも趣味の繋がりで人脈が広がっていくことが多いです。

警察行政



警務部

高度情報推進局

高度情報推進課

H30入庁

論文(情報分野)で

受験

詳細な
インタビューは
こちら！



土木



万博推進局
整備調整部 整備企画課
H28入庁
廣瀬 成則
Hirose Shigenori

詳細な
インタビューは
こちら！



現在の仕事内容

2025年大阪・関西万博における会場建設の財源となる補助金業務や、万博開催期間中の防災対策など危機管理業務を担当しています。万博開催に向けて、会場建設に関する設計、工事などを実施し、運営主体である「公益社団法人2025年日本国際博覧会協会」と協働し、限られた時間の中、関係機関との調整業務を進めています。

仕事のやりがい

万博開催に向けて大阪府と大阪府が協働し、博覧会協会や国のみならず、様々な関係機関と調整を要します。現在の部署では、普段あまり関わることのない様々な機関や職種の方々と、万博開催という大きなプロジェクトに関われることは新鮮で、日々楽しく業務を行っています。

入庁してからこれまで、
最も印象に残っている仕事

新しい道路を建設する仕事です。発注者として工事発注から施工管理まで行い、発注した構造物が出来上がっていく過程を見るのはとても感慨深く、事故なく無事に完成した際にはやりがいを感じました。建設現場で重要な品質管理や安全管理などを経験することができました。

機械



都市整備部
事業調整室 技術管理課
H30入庁
織田 智也
Oda Tomoya

詳細な
インタビューは
こちら！



現在の仕事内容

現在の主な仕事は、各種工事で設置する設備機器の仕様確認と価格調査です。まず出先機関から工事内容の説明を受け、工事に必要な各種機器について、必要な能力を満たしているか、過剰な能力になっていないか、各種設計基準に準拠しているかなどを確認します。その後、関係業者へのヒアリングを行い、各機器の価格調査を実施します。この調査結果を元に出先機関が各種工事の発注業務を行います。他にも様々な仕事がありますが、このように出先機関を手助けする仕事を主に行っています。

仕事のやりがい

都市整備部では、道路、下水、河川など多岐にわたる事業を行っています。どの事業も社会インフラに関わるものであり、府民の方々や、まちを守るという共通目標のもと、事業を進めています。もちろん、その分責任の重い仕事ですが、その反面、大阪府全体のインフラ事業に携わっていることは誇りで、非常にやりがいを感じています。

職場の雰囲気

本庁と出先機関を経験した感想としては、本庁はデスクワークが中心の仕事であるのに対して、出先機関は現場に行くことが多いという違いはありますが、どちらも上司や先輩職員に気軽に相談でき、仕事をしやすい雰囲気だと感じています。

現在の仕事内容

府営住宅に関する業務を行っています。府内には、府営住宅が306団地11万7千戸存在します。その中でも特に古くなった団地や空き家の多い団地について、今後の方針を考えたり、府営住宅を活かしたまちづくりを推進することで、より良いまちになるよう関係課との調整や資料の作成、市町との協議などを行っています。

入庁してからこれまで、
最も印象に残っている仕事

入庁して最初に配属されたのがまちづくりの部署で、府市連携して、大阪全体の将来像を考えるといった仕事でした。最初は、雲をつかむような計画でも、少しずつ現実味を帯びていく過程を実感でき、ワクワクしたのを覚えています。また、このような規模の大きいプロジェクトに府の職員として携われたことも嬉しい、今でも印象に残っています。

入庁前のイメージと違っていったこと

公務員としての建築職の仕事が幅広く、多岐にわたっていることです。入庁前は、建築職といえば、設計工事や指導系のイメージが強かったのですが、実際は、土木分野や用地、まちづくりなど、広い分野で建築職として携わることができます。その分、覚えることも多いですが、経験や知識を幅広く得ることができる職場だと思います。

建築



都市整備部
住宅建築局
住宅経営室 経営管理課
H29入庁
渡部 紫苑
Watanabe Shion

詳細な
インタビューは
こちら！



現在の仕事内容

主に下水道施設の維持管理に関する業務です。東部流域下水道事務所の管内には水みらいセンター（処理場）が5箇所、ポンプ場が19箇所あります。それらに設置されている設備の点検、補修などに関するとりまとめを行っています。また、古くなった設備について更新などの計画をまとめる業務や、下水道防災システムの保守点検の施工管理を行っています。

仕事のやりがい

下水道施設は、汚水を処理し生活環境を清潔に保つ役割や、雨水を排水し浸水を防ぐ役割を担っており、生活、都市活動の基盤を支える重要なライフラインです。下水道施設の機能が損なわれないよう、私たちは日々適切な運転、維持管理に務めており、府民の方々の安定した生活を守っていることにやりがいを感じます。

入庁してからこれまで、
最も印象に残っている仕事

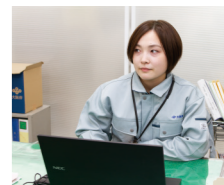
初めて担当したプラント設備の工事が印象深いです。ポンプ場の監視制御設備を更新するもので、ジョブトレーナーさんと先輩、上司に業務の進め方や関係機関との調整など様々なことを教わりながら、なんとか工事を進めることができました。異動で竣工までは携われませんが、稼働している設備を見たときは、自分も府民の生活を支える一助になれたと感じ、達成感がありました。

電気



都市整備部
東部流域下水道事務所
維持管理課
H30入庁
松本 涼
Matsumoto Suzu

詳細な
インタビューは
こちら！



環境



環境農林水産部
脱炭素・エネルギー政策課
H28入庁
西山 由真
Nishiyama Yumi

詳細な
インタビューは
こちら！



現在の仕事内容

大阪府が掲げる「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」をめざして、太陽光発電など再生可能エネルギーの活用やさらなる省エネ促進を進めていくための施策・事業に携わっています。具体的には、「大阪府気候変動対策の推進に関する条例」に基づく、事業者からのエネルギー削減計画・報告への対応のほか、新たな制度構築・運用改善などの検討をしています。

仕事のやりがい

脱炭素は、関心が高い話題として、行政や民間で様々な取組みが模索されているなか、府としても新たな施策を構築・展開しています。現在、取り組んでいる制度構築業務では、脱炭素社会をめざすためにどのようにしていくかを自身で考え、グループで議論し、それが形になるというところにやりがいを感じています。

入庁前のイメージと違っていたこと

入庁前は、公務員の職場は、型にはまっというイメージを持っていました。しかし、実際に入庁すると、課題と覚悟することについては、職階に関係なく意見やアイデアを出し合って改善していくとともに、新たに良いと思ったものは速やかに事業化の検討を進めるなど、想像していたよりも、柔軟性に富んだ風通しの良い職場環境でした。

農業工学



環境農林水産部
南河内農と緑の総合事務所
耕地課
H31入庁
石井 悠菜
Ishii Yuna

詳細な
インタビューは
こちら！



現在の仕事内容

大阪府の農業の振興が私たちの仕事であり、耕地課では主に、農業を行うにあたって必要な整備工事を行っています。現在は、河川に設置されている農業用水を確保するための井堰の改修事業と、農地の形状や道路水路を整備し、営農のしやすさを向上させるほ場整備事業を担当しています。

入庁前のイメージと違っていたこと

技術職として入庁しましたが、いわゆる現場仕事ばかりではなく、事務仕事も多いことです。法令の勉強などもたくさんしました。ほかにも、府民の方がどんなことに困っているのか、どんなことをしてほしいかを聞いて、どんなふうになれば大阪府の事業として実施することができるのか考える企画の仕事もあり、あまり想定していなかったものでした。

職場の雰囲気

主に所属する部署は本庁と4つの出先事務所になり、4年程度で異動します。大阪府庁全体からすると、農業工学職の職員数は非常に少ないですが、その分同期や同僚と親密な関係を構築できます。比較的年齢層が高い職場かと思いますが、最近は若い職員も増えてきています。

現在の仕事内容

主な仕事は、泉州地域の農業振興と活性化です。具体的には、農業の現場に向いて農家への栽培技術の指導や、農業現場の課題解決に向けたアドバイス、農業経営の改善に向けた相談助言、大阪の農産物をPRするためのイベントの開催など、関係機関と連携しながら直接農家や消費者へ働きかける仕事を行っています。

仕事のやりがい

現場巡回をする中で、農家の方から「野菜の調子が悪いからみてほしい」「野菜の病気を抑える方法を教えてほしい」などの質問をされることが多く、自分で調べたり上司と相談しながら解決策を考えます。それを農家の方に伝えて「ありがとう」と感謝の声をいただいた時に「頑張ってたかった」とやりがいを感じます。

職場の雰囲気

農学職は、農家や関係機関と協力して仕事を行うため、必然的に人と話す機会が多くなります。そのため、職員にはフレンドリーな方が多いので、仕事の相談がしやすくサポート体制の充実した活気ある職場です。また、年次休暇も取りやすく、仕事とプライベートにメリハリをつけることができます。



環境農林水産部
泉州農と緑の総合事務所
農の普及課
R2入庁
増本 寛之
Masumoto Hiroyuki

詳細な
インタビューは
こちら！



現在の仕事内容

近年頻発する山地災害から府民の生命・財産を守るため、私が所属する森林課では、治山ダムを設置や、間伐など森林保全のための整備を行っています。また、府民の方々に防災意識を高めていただくために、防災教室などを開催しています。私の仕事は地元調整・工事発注・施工管理などがあり、デスクワークもあります。現場に出ることの方が多いです。

仕事のやりがい

現在の仕事は、事業の調整から工事の発注手続きや施工管理など山林の整備まで幅広く関わることができ、現場を身近に感じられます。また、私の担当する事業は防災事業であり、府民の生命・財産に直結する仕事なので、事業が完成したときの達成感と地元住民の方々からいただく感謝のお言葉に、やりがいを感じます。

入庁前のイメージと違っていたこと

入庁前は、公務員と聞くと、デスクワーク中心だと思っていましたが、入庁してみると、現場に出る機会が非常に多く、意外でした。山林の調査や工事の施工管理、地元住民の方々との調整など、現場での仕事は多岐にわたりますが、いずれも府民の生命と財産を守る仕事で、やりがいを感じながらできる仕事です。

林学



環境農林水産部
北部農と緑の総合事務所
森林課
H30入庁
富松 孝次
Tomimatsu Koji

詳細な
インタビューは
こちら！



主な選考職種

一定の学歴や資格などを必要とする専門的職種

それぞれのQRコードから各職種の紹介、採用案内をご覧いただけます。



社会福祉・心理・保健師・薬学・獣医師・栄養士についてはホームページで職員インタビューを掲載しています。ぜひご覧ください。



社会福祉



社会福祉に関する専門的知識と技術を用い、相談機関等での子どもや障がい者等の相談援助、社会福祉施設での利用者の生活支援、自立に向けた支援等を行います。また、福祉施策の企画立案や事業推進等を行います。

主な配属先

本庁／福祉部 など
出先機関／子ども家庭センター、砂川厚生福祉センター、保健所 など

心理



心理に関する専門的知識と技術を用い、相談機関等での子どもや障がい者等の相談援助及び心理判定、社会福祉施設での利用者の生活支援、自立に向けた支援等を行います。また、福祉施策の企画立案や事業推進等を行います。

主な配属先

本庁／福祉部 など
出先機関／子ども家庭センター、障がい者自立相談支援センター、子どもライフサポートセンター など

児童自立支援専門員



主に修徳学院（夫婦小舎制児童自立支援施設）の寮において、様々な理由により入所指導を要する児童と家庭的な環境のもと、起居を共にすることで信頼関係を築き、他者と共生し、生活を営む力を育めるよう、教育や指導にあたります。

主な配属先

修徳学院 など

児童生活支援員



主に修徳学院（夫婦小舎制児童自立支援施設）の寮において、様々な理由により入所指導を要する児童と家庭的な環境のもと、起居を共にすることで愛着関係を築き、自立心や問題を解決する力を育めるよう、教育や指導にあたります。

主な配属先

修徳学院 など

保健師



府民の健康と命を守るため、母子保健（小児慢性特定疾病児等）、難病対策、結核・感染症対策、精神保健福祉、健康づくり、保健医療施策の企画・事業推進等を行います。

主な配属先

本庁／健康医療部 など
出先機関／保健所 など

薬学



薬学の専門的知識と技術を用い、4つの職種（環境衛生監視員・薬事監視員・食品衛生監視員・検査技師）に分かれて、環境衛生の向上、医薬品・医療機器等や食品の安全性確保等に関する許可や監視・指導業務、感染症や水道水等の試験・検査を行います。

主な配属先

本庁／健康医療部 など
出先機関／保健所 など

獣医師



食の安全・安心を守るため、牛・鶏等の検査業務や、食品衛生監視員として飲食店等の監視業務のほか、動物の愛護と適正な飼育などの普及啓発や、家畜伝染病の防疫や畜産振興、野生動物の被害対策や保護管理、といった動物に関する業務に従事します。

主な配属先

本庁／健康医療部、環境農林水産部 など
出先機関／保健所、羽曳野食肉衛生検査所、家畜保健衛生所、動物愛護管理センター など

栄養士



生活習慣病の発症予防・重症化予防を目的とした栄養・食生活支援を通じ、府民の健康づくりに取り組んでいます。また、食を通じた社会環境の整備促進の一環として、特定給食施設の指導や市町村に対する支援を行う等、栄養改善業務に従事します。

主な配属先

本庁／健康医療部 など
出先機関／保健所 など

職業訓練指導員



求職者を対象として就職に必要な知識・技能・技術の指導や、受講者のスキル、職歴等を踏まえ、キャリアコンサルティング等の就職支援を行います。また人材ニーズや技術動向等を把握し、人材育成に必要なカリキュラムの作成等に従事します。

主な配属先

本庁／商工労働部 など
出先機関／高等職業技術専門校、大阪障害者職業能力開発校 など

事務



障がい者を対象とした選考職種で、障がいの状況に応じて、一般行政事務に準じた事務（府の政策に関する企画立案、府庁内外の調整、条例制定等、施策事業を推進するほか、財産管理や府税徴収等幅広い業務）に従事します。

主な配属先

本庁／知事部局、各種行政委員会 など
出先機関／府税事務所、土木事務所 など

ある職員に聞いてみました

職員インタビュー

社会福祉

心理

保健師

薬学

獣医師

社会福祉



配属例などは
こちらから



現在の仕事内容

社会福祉に関する専門的知識と技術を用い、子ども家庭センターで子ども家庭への相談援助等の支援に携わっています。以前の職場では社会福祉施設で利用者の生活支援や、福祉施策の企画立案や事業推進に携わることもありました。

仕事のやりがい

相談業務や施設での生活支援の中で、時間をかけて支援対象の方と信頼関係を築くことで、その方の自立支援に向けて伴走し、その方の笑顔を見られた時にやりがいを感じます。職場のチームワークの良さも魅力です。

心理



配属例などは
こちらから



現在の仕事内容

心理検査や面接を通して子どもの心理状態を把握し、必要に応じて継続的な心理教育を行ったり、他の支援に繋げたりします。福祉施設での生活支援業務や、福祉施策の企画立案・事業推進に携わることもありました。

仕事のやりがい

子どもに必要なかわりを検討し、うまく支援に結びつけられたときにやりがいを感じます。また、様々な課題を乗り越えていきいきしていく子どもの姿を見られることも仕事の魅力です。

保健師



配属例などは
こちらから



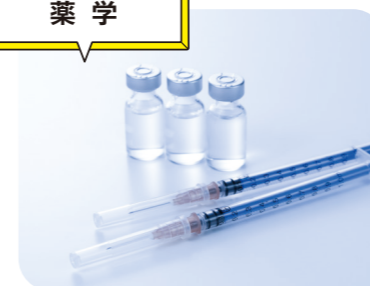
現在の仕事内容

保健所の企画調整課で地域の「健康づくり」に携わり、たばこをやめたい方へ禁煙治療を実施している管内の病院の情報を周知したり、地域・職域連携として、がん検診の受診率向上への取組みについて関係者と意見交換を行っています。

仕事のやりがい

健康関連の啓発は、それぞれの地域の健康課題を基に、自分なりにアイデアを出しながら、企画できることにやりがいを感じています。市町村や関係機関と連携して府民全体の健康のため、何ができるかを考えたり、主体的に仕事を行うことができます。

薬学



配属例などは
こちらから



現在の仕事内容

薬事監視員として医薬品や医療機器、化粧品、医薬部外品、再生医療等製品のメーカーや販売店等の審査を担当しています。申請者のもとに赴いて現地調査を行った後、円滑に申請・手続きするため、講習会を開催し、説明することもあります。

※他に3つの職種があります。

仕事のやりがい

薬事審議会の部会の事務局を担当しており、様々な職種の方の意見を伺いながら、医療機器の適正使用を推進し、安全性を確保するための施策を審議しています。薬事関連部署が医療機器の安全対策に取り組んでいる自治体は全国的にも少なく、やりがいを感じています。

獣医師



配属例などは
こちらから



現在の仕事内容

動物愛護業務では動物愛護管理センターにおいてペットの正しい飼育の啓発や引き取った動物の健康管理や新しい飼い主探しなどを、畜産衛生業務では家畜保健衛生所において家畜伝染病発生予防のため府内の畜産農家へ出向き、検査やワクチン接種、飼養衛生管理指導などを行っています。

仕事のやりがい

幅広い分野の業務があり、異動により様々な経験ができる点で魅力があります。また、獣医師としての技能が求められる自身の役割を果たすことが府政の遂行に繋がり、大きな使命感や達成感を得られる点でもやりがいを感じています。

転職経験者インタビュー

前職での経験を活かし、様々な活躍をしている転職経験者の松井さんと杉山さん。お二人に仕事の魅力や、やりがいについてお話を聞きました。

行政職

府民文化部
都市魅力創造局
魅力づくり推進課

H30入庁
松井 まどか
Matsui Madoka

技術職(建築)

都市整備部
住宅建築局
居住企画課

H31入庁
杉山 陽祐
Sugiyama Yosuke

松井さんへのインタビューはこちら！



杉山さんへのインタビューはこちら！



配属歴

H30.4 商工労働部 中小企業支援室 ものづくり支援課
R2.4 大阪自動車税事務所 納税課
R4.4 府民文化部 都市魅力創造局 魅力づくり推進課

配属歴

H31.4 住宅まちづくり部 建築指導室 建築安全課
(現 都市整備部 住宅建築局 建築指導室 建築安全課)
R4.4 都市整備部 住宅建築局 居住企画課

Q1 前職について、仕事の内容を教えてください

松井 旅行会社で海外旅行パッケージツアーの商品企画をしていました。

具体的にはツアー行程の検討や旅行代金の値付け、パンフレット紙面のイメージを考えたり、原稿の校正などをしていました。

杉山 建設業界で施工管理業務に従事していました。

Q2 大阪府への転職を志したきっかけや動機を教えてください

松井 前職入社5年目の夏に、大阪から東京に転勤となったことが転職を考えるきっかけとなりました。慣れ親しんだ関西で、関西を元気にする仕事がしたいと思い、転職先を探していたところ、大阪府の採用説明会が東京で開催されることを知って参加し、受験を決意しました。公務員にこだわりはなかったので、不採用となれば民間企業への転職も検討していました。

杉山 私が公務員を志望した理由は、自分たちの利益を追求していくのではなく、そこに住んでいる方や訪れる方々に対して、どうすれば良いまちになっていくのかを考えて仕事をしていくことが魅力的だと思ったからです。その中でも、これまで住んできた場所に対して、建築分野で貢献したいという思いから大阪府を志望しました。

Q3 仕事内容を教えてください

松井 現在所属している魅力推進・ミュー

ジウムグループでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている府内観光事業者の支援を目的とした「国内旅行消費喚起事業」や、まち全体をミュージアムに見立て、魅力的な地域資源を発掘し、磨き・際立たせ、結びつけることにより、大阪のまちの魅力を外に発信する「大阪ミュージアム」の推進などを実施しています。

杉山 初めての配属先である建築安全課では、違反建築物などの指導を行いました。現在の居住企画課においては、住宅建築局の企画担当として、議会に関する業務や、各関係部署との調整などを通じて、住宅や建築に関する様々な事業の推進に携わっています。

Q4 前職の経験やスキルが活かした経験や場面について教えてください

松井 前職でのパンフレット校正の経験が活かしていると感じています。

ものづくり支援課では、「大阪製ブランド」というものづくり中小企業の消費者向け製品を認定する業務において、認定製品のPRパンフレットなどのチェック業務があり、また、大阪自動車税事務所では、マニュアル作成業務に携わる中で全体構成などを考える機会があり、前職の経験を活かしました。

杉山 入庁して初めての職場である建築安全課において、図面を見る機会がありました。前職でも建築関係の仕事をしており、図面を見る機会が多かったため、特に問題無く業務を進めることができ、前職の経験が役に立ったなと思いました。

Q5 入庁前のイメージと違ったことがあれば教えてください

松井 「公務員は決まりきった堅苦しい仕事ばかり」というイメージでしたが、担当業務によっては、ある程度自ら考え提案していくような仕事もあり、それがいい意味でギャップでした。また、部署により仕事内容や仕事の進め方、雰囲気も大きく変わります。異動後は毎回転職したような気分です。慣れるまでが少し大変、という点については想像よりもギャップが大きかったです。

杉山 入庁前は、公務員の建築職がどのような仕事をしているのか詳しく知りませんでした。入庁してから、大阪府職員の間で携わる仕事が多岐にわたっていることが分かりました。

Q6 大阪府への転職を考えている方へメッセージをひとことお願いします

松井 新卒の就職活動時にも公務員試験対策をしたことがなく、知識のなさに不安を感じていましたが、採用試験はいわゆる公務員試験ではありませんし、法的知識についても、業務にあたるなかで勉強していけば問題ありません。私のように民間企業出身の同期もたくさんいますので、大阪府の仕事に少しでも興味がある方は一度チャレンジしていただければと思います。

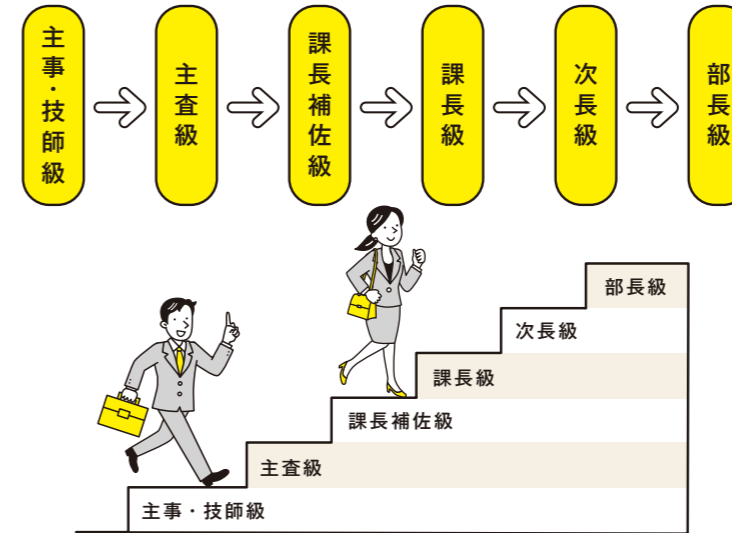
杉山 一つの仕事だけをするのではなく、多岐にわたる業務に携われるのが魅力だと思います。優しい職員が多く、また風通しのよい職場で転職をお考えの方はぜひおすすめです。

※掲載されている職員の職務内容、所属及び所属名称は配属当時のものです。

人事制度

昇任制度 / 勤務条件

昇任制度



行政職の場合

昇任は、左の昇任の流れに沿って、勤務成績等を考慮した能力主義で行われます。入庁後一定期間を経た職員を対象として主査級昇任審査が実施され、合格者は主査級に昇任することができます。

※警察行政職については、独自の昇任制度があります。

技術職の場合

技術職については、昇任審査はありません。

将来の職階構成等を考慮しつつ、長期的展望に立った育成型・選抜型の昇任管理を実施しています。

勤務条件

■ 給与 初任給は、経歴その他に応じて一定の基準により決定されます。

試験区分	初任給
行政(高校卒程度)	月額191,700円程度 (令和5年4月1日現在で年齢が18歳、高校卒業後の場合。地域手当含む。)
警察行政(高校卒程度)	
技術(高校卒程度)	月額227,200円程度 (令和5年4月1日現在で年齢が22歳、大学卒業後の場合。地域手当含む。)
行政(大学卒程度)	
警察行政(大学卒程度)	月額266,900円程度 (令和5年4月1日現在で年齢が30歳、大学卒業後民間企業等における職務経験年数が8年の場合。地域手当含む。)
技術(大学卒程度)	
行政(社会人等:26-34)	月額292,400円程度 (令和5年4月1日現在で年齢が42歳、高校卒業後民間企業等における職務経験年数が24年の場合。地域手当含む。)
技術(社会人等)	
行政(社会人等:35-49)	

給料の月額以外に、通勤手当、扶養手当、住居手当、時間外勤務手当、期末手当、勤勉手当等の諸手当がそれぞれの条件に応じて支給。

職員のモデル給与月額(行政職)

職階	年齢	給与月額	期末勤勉手当額	年収
部長級		745,100	3,773,100	12,714,600
次長級		668,600	3,276,200	11,300,300
課長級	50歳	597,900	2,807,200	9,982,600
課長補佐級	50歳	467,400	2,311,500	7,921,100
主査級	45歳	413,100	1,954,300	6,912,400
主事級	35歳	304,500	1,375,000	5,029,600
主事級	大学初任給	209,400	900,400	3,413,200

※令和4年4月1日現在の職階別・年齢別の実支給額の平均額です。

※左記月額には地域手当が含まれます。

※百円未満を切り捨てています。

大阪府HPにてモデル年収について公開しています



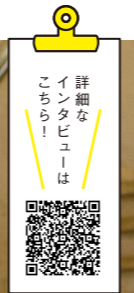
キャリアパス紹介

社会で課題となっている事象に関わり、
改善に取り組めることが何よりの魅力です！

行政

健康医療部
保健医療室保健医療企画課長

岡田 敦子
Okada Atsuko



配属歴

主事級

- 企業に2年間勤務した後に受験し、入庁
- H12.4 主事 商工労働部雇用推進室企画課
- H14.4 主事 総務部市町村課(大阪市派遣)
- H16.4 主事 環境農林水産部緑整備室緑推進課
- H17.4 主事 環境農林水産部みどり・都市環境室自然みどり課

世の中の制度や仕組みをつくる側になりたいと、社会人を経て入庁。商工労働部雇用推進室では、公正採用にかかる啓発などに取り組みました。その後、大阪市経済局への派遣を経て、環境農林水産部へ。第1子の妊娠中に主査級試験を受験しました。

主査級

- H19.4 主査 環境農林水産部みどり・都市環境室森林課

- H21.4 主査 環境農林水産部みどり・都市環境室みどり推進課
- H22.4 総括主査 福祉部高齢介護室介護支援課
- H25.4 総括主査 福祉部福祉総務課

みどり・都市環境室では、緑化条例の制定やみどりの計画策定などに携わったことで、法規や計画策定などの基礎を身に付けることができました。
福祉部高齢介護室介護支援課では、地域包括ケアシステムなど高齢者福祉施策の企画調整を担当。福祉総務課に異動後は、支援を必要とする方へのさまざまな福祉施策について、議会調整や法規など企画調整業務全般に従事しました。

課長補佐級

- H28.9 課長補佐 健康医療部健康医療総務課
健康・医療・衛生に関するさまざまな施策

に関し、部内各室課や他部局との調整をはじめとする企画調整業務全般に携わりました。

課長級

- R3.4 参事 健康医療部保健医療室感染症対策企画課
- R4.4 課長 健康医療部保健医療室保健医療企画課

感染症対策企画課では、新型コロナウイルス感染症の医療対策全般にかかる庁内関係部局や国との調整などに従事し、現在の課でも病床確保に携わっています。国と現場の両方の状況を踏まえながら府としての取組みを進めていく、広域自治体としての仕事にやりがいを感じています。

また、現在は持続可能な医療提供体制の確保にかかる計画などの推進や在宅医療、病院・医療法人などの許認可、府立病院機構を含めた府内医療機関との調整などに奮闘しています。

の方と接する機会もあり、そういう意味では、異動ローテーションは新しい分野を知る機会ともいえるのではないのでしょうか。

大阪府職員の魅力、やりがいについて

「府民のために、大阪を良くしていこう」という目的のもと、社会で課題となっている事象に関わり、取り組んでいることを何よりの魅力と感じています。

また、広域自治体として、現場の状況と広い視野の両方の視点を持って、市町村や国などと連携しながら様々な課題解決にあたることができること。さらには、その結果が直接的、間接的に府民生活に反映され、大阪をより良くできること。これらも私にとっては大きな魅力であり、その成果を実感できたときに嬉しさとやりがいの両

方を感じています。

大阪府職員をめざす方々へメッセージをお願いします

仕事に対する責任感と熱い思い、そして、自分の周りはもちろんのこと、大阪府庁や社会では何が課題となっているのかについて考え、行動する——。これが大阪府職員に求められている姿勢です。

私たちの目標である「府民のために、大阪を良くする」を実行するのは大変なことですが、周囲と協力しながら懸命に取り組んでいけば、おのずと道は開けていくはずです。府民のために仕事がしたいという熱い思いを持つ皆さんと一緒に仕事ができる日が来るのを楽しみにしています。

人事制度 2 | ワーク・ライフ・バランス 主な子育て支援制度

ワーク・ライフ・バランス

(知事部局等の場合)

■ 年次休暇取得日数
平均 **12日4時間** (令和4年度)

■ 年間休日
120日以上

■ 所定外労働時間
月平均 **14.1時間** (令和4年度)

■ 新たに育児休業を取得した職員数
211人 (令和4年度)

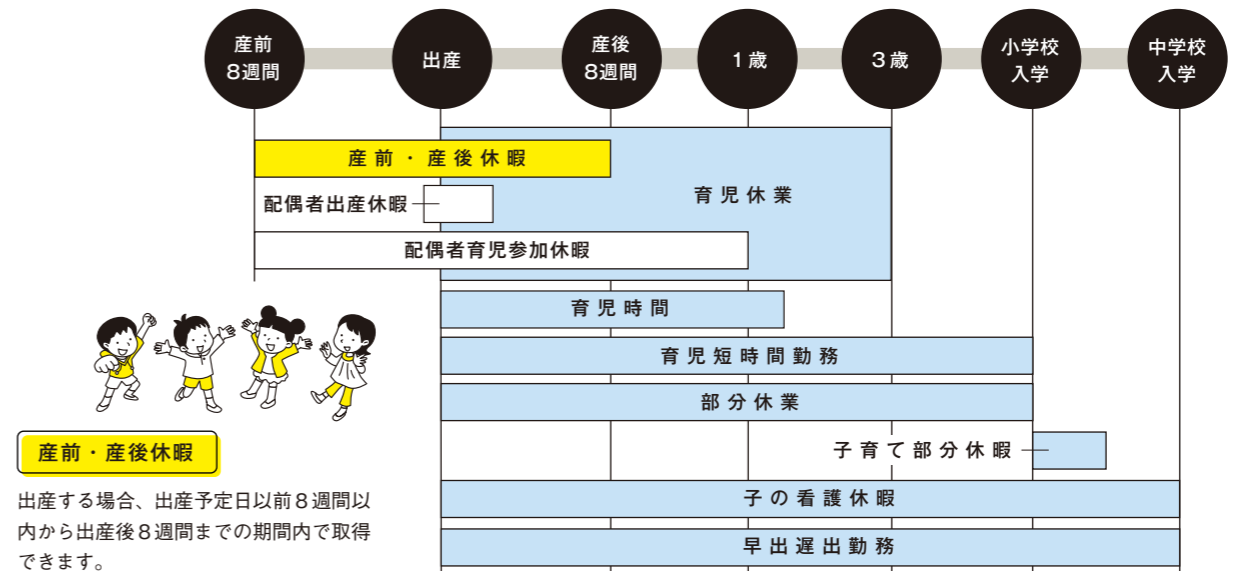
- 休暇制度
 - ・年次休暇 (年間20日、採用時は15日。1時間単位で取得可能。)
 - ・病気休暇
 - ・特別休暇 (夏期・結婚・出産等)
 - ・介護休暇
 - ・介護時間
 - ・子育て部分休暇

■ フレックスタイム制度
公務の運営に支障がないと認める範囲内で、単位期間において1週間当たり38時間45分となるように勤務時間を割り振る制度です。

■ 在宅勤務及びサテライトオフィスの活用
職員のワーク・ライフ・バランスの実現や、育児や介護等を行う職員の支援を行うとともに、「働く場所にとられない職場環境」の実現に向けて、在宅勤務やサテライトオフィスの推進を行っています。



主な子育て支援制度



産前・産後休暇
出産する場合、出産予定日以前8週間以内から出産後8週間までの期間内で取得できます。

配偶者出産休暇
配偶者の出産にかかる入院等の日から、出産日以後2週間を経過するまでの日に、2日以内で取得できます。

配偶者育児参加休暇
配偶者の出産予定日前8週間から出産日以後1年経過するまでの期間に、5日以内で取得できます。

育児時間
生後1年6ヵ月に達しない生児を育てる場合、1日2回(30分と1時間)取得できます。

育児休業
子が満3歳になるまで休業できます。

育児短時間勤務
小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合、短時間勤務ができます。

部分休業
小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合、正規の勤務時間の始め又は終りにおいて、15分を単位とし、1日につき2時間を超えない範囲で取得できます。

子育て部分休暇
小学校等の第1学年から第3学年までに在学している子を養育する場合、15分を単位とし、1日につき2時間を超えない範囲で取得できます。

子の看護休暇
中学校就学の始期に達しない子を看護する場合、1年に5日(2人以上の場合は10日)以内で取得できます。

早出遅出勤務
一定の要件を満たす場合、勤務時間(7時間45分)はそのまま、子育てのために始業を早くしたり、遅くしたりできます。

※上記特別休暇等の取得・利用にはそれぞれ別途要件・請求手続き等があります。

配属・異動

※警察行政職については、概ね2年～5年で異動があり、個々の能力適性等に応じた配置を行います。

職員の配属や異動は、本人の能力・適性等に応じて、将来に向けた能力開発といった観点も加味しながら総合的に判断して行っています。中でも、若手職員については、多様な経験と幅広いものの見方や考え方、知識を身につけてもらう、といった観点到重点をおいています。

1

異動ローテーション

■行政職

原則4年程度で異動します。新規採用職員については、幅広い視野を身につける目的から、本庁と出先機関をそれぞれ2年程度経験します。(合格した試験区分によって異動年限は若干異なります。)

■技術職

原則として行政職に準じますが、職種によって異なります。

2

やる気と能力を生かす人事

アイデアやチャレンジ精神あふれる職員が希望する業務にチャレンジできる制度を実施しています。

■キャリアクリエイト制度

職員が持つアイデアや意欲、向上心を喚起し、職員の多様な能力を有効活用するとともに、主体的なキャリア形成を支援する制度です。

■ベンチャーコース

創意工夫あふれる新規事業を提案した職員又は所属が提示する事業に関する改善方策等を提案した職員の中から選考を実施し、合格した職員を当該所属へ配置した上で事業化に取り組みます。

■リクルートコース

積極的に職務に取り組み、主体的にキャリアを描く職員の中から選考を実施し、選考に合格した職員を希望する所属へ配置します。



研修制度

※警察行政職については、警察学校等で研修を行うなど、独自の研修制度があります。

■センター研修

全庁的に共通する基本的能力等を養成することを目的として実施しています。経験年数や職階に応じた階層別研修と、個々のキャリア形成を促進するキャリア形成支援研修があります。

■部局等研修及び職場研修

配属先の各部局や職場等において、業務に必要な知識や技術等に関する研修を実施しています。

■自主研修

職員が自発的に行う個人学習やグループ学習等の支援をしています。また、働きながら大学院に修学する府職員(在職

期間4年以上等)を支援する制度もあります。

■新規採用職員の育成

先輩職員が、ジョブトレーナーとして良き相談相手となり実務面のサポートを行います。

センター研修	階層別研修	新規採用職員研修	採用時に、府政の現状と課題、公務員倫理や接遇等、講義や演習を通して府職員として必要な基礎知識・技能を養成しています。
		主事・技師級職員研修	採用後3年間を重点育成期間として位置づけ、府職員として必要とされる政策形成能力等の基礎的な能力を養成しています。
		その他、新任主査級、課長補佐級及び課長級職員研修、人権研修、管理職研修等により、各職階に求められる能力を養成しています。	
キャリア形成支援研修		キャリアサポート研修	採用後1・4・10年目職員に対して、職員のキャリアデザインをサポートしています。
		主査級昇任考査必須研修	主査級昇任考査対象者に対して、マネジメント力や政策形成能力、コミュニケーション力、経営管理等、主査級職員として必要な能力を養成しています。
		その他、ICT、プレゼンテーション、簿記知識、地方自治法に関する研修等により、基礎・実務能力を育成しています。	



よくある質問



より詳しいQ&Aはこちら

Q

競争試験を行う職種にはどのようなものがありますか。また、それぞれの受験資格について教えてください。



A

競争試験の試験区分及び受験資格は次のとおりです。原則として、学歴及び職務経験に関係なく受験できます。

■受験資格

試験職種・区分	受験資格(年齢)
行政(高校卒程度)	試験実施年度末年齢が18～21歳の人
行政(大学卒程度)	(1)試験実施年度末年齢が22～25歳の人 (2)下記 ^(※1) に該当する人
行政(社会人等:26-34)	試験実施年度末年齢が26～34歳の人
行政(社会人等:35-49)	試験実施年度末年齢が35～49歳の人
警察行政(高校卒程度)	試験実施年度末年齢が18～21歳の人
警察行政(大学卒程度)	(1)試験実施年度末年齢が22～29歳の人 (2)下記 ^(※1) に該当する人
技術 ^(※2) (高校卒程度)	試験実施年度末年齢が18～21歳の人
技術 ^(※2) (大学卒程度)	(1)試験実施年度末年齢が22～29歳の人 (2)下記 ^(※3) に該当する人
技術 ^(※2) (社会人等)	土木、建築、機械、電気:試験実施年度末年齢が30歳から49歳の人 環境、農学、農業工学、林学:試験実施年度末年齢が30歳から34歳の人

- ※1 試験実施年度末年齢が21歳以下の人で、学校教育法に基づく大学(短期大学を除く。)を卒業した人(試験実施年度末までに卒業する見込みの人を含む。)又はこれと同等の資格があると人事委員会が認める人。
- ※2 技術:土木、建築、機械、電気、環境、農学、農業工学、林学。年度・試験区分によって募集のない職種もあります。
- ※3 試験実施年度末年齢が21歳以下の人で、学校教育法に基づく大学(短期大学を含む。)若しくは高等専門学校を卒業した人(試験実施年度末までに卒業する見込みの人を含む。)又はこれらと同等の資格があると人事委員会が認める人。

Q

複数の試験を重複して申し込むことはできますか。



A

同じ日に試験を行う職種は、重複して申し込むことはできません。試験日が重なっていない場合、受験資格を満たしていれば受験できる場合もございます。詳しくは試験案内をご確認ください。

Q

過去の試験問題を公表していますか。



A

大阪府職員採用案内ホームページに過去3年分の試験問題を一部掲載しています。また、府政情報センターでも公開しています。閲覧は無料ですが、コピーを希望される場合は、その費用(片面複写1枚につき10円)が必要です。

Q

日本国籍を有しないのですが、受験できますか。



A

競争試験職種の場合、警察行政職以外の職種について、日本国籍の有無は問いませんので、受験できます。なお、日本国籍を有しない職員は、公権力の行使又は公の意思形成への参画に関わる職以外の職に任用されます。

Q

性別、年齢、国籍、職歴、学歴、新卒・既卒などによる有利・不利はありますか。



A

性別、年齢、国籍、職歴、学歴、新卒・既卒などによる有利・不利はありません。受験資格を満たしている、すべての人に平等に競争試験・採用選考を行います。

Q

大阪府に住んだことがなくても合格できますか。



A

在住(または出身)都道府県による有利・不利はありません。毎年、大阪府外に住んでいる人も合格しています。

Q

国や市町村と、大阪府の仕事にはどのような違いがありますか。



A

大阪府は、広域自治体として、幹線道路の建設や地域保健の向上など複数の市町村にまたがる仕事、国や市町村との連絡調整などを幅広く行い、府民の暮らしを支えています。国の省庁は法律の制定など全国的に統一して定めることが望ましい事務のほか、経済・金融政策や社会保障、外交、防衛などの仕事を、市町村は住民の日常生活に直接かかわる身近な仕事を行います。